

令和元年

# 消防団たずね歩き

「新詰所 気持ち新たに」

須磨消防団第7分団は、須磨の山手となる多井畑、新興住宅街の高倉台、友が丘、菅の台、竜が台、南落合などを管轄しており、現在は12名の団員で活動しています。

活動内容は、月に1回の小型動力ポンプの点検、防災福祉コミュニティ訓練のほか、地域の盆踊り、運動会、須磨海岸クリーン作戦など積極的に協力しています。

当分団では、12月31日の年末警戒を終えた後、元旦の午前8時からの放水訓練を皮切りに1年間の消防団活動をスタートしています。

小型動力ポンプの導入にも歴史があり、阪神淡路大震災前から配置しており、震災時には妙法寺川の水を土嚢でせき止めて水利を確保し、火災の消火を行いました。

詰所は、多井畑地区の中心に位置する多井畑厄除八幡宮の近くにあり、詰所の前には火の見櫓が備えてあります。それらは、ともに老朽化しており、今年度中には詰所は移転、火の見櫓は多井畑の象徴でもありましたので非常に残念ですが、取り壊しが決定しました。

これまではトイレが無い詰所でしたが、新しい詰所には、男性用トイレだけでなく女性用トイレも設置することが決定しています。今後、女性消防団の勧誘に力を入れていこうとしているところに、心強い詰所となりそうです。

最後に、令和元年度に新しい詰所が建ち、第7分団の新しいスタートとなります。団員各位が気持ちを新たに地域防災リーダーとして活動していきます。

今後、地域の皆様のご期待に添えるよう努力して参りますのでご支援受け賜りますようお願いいたします。



(第7分団 分団長 宮慶信孝)

地域に根付いた消防団を目指しています！